

学生便覧 2026年度

メディア学部
メディア情報学科
映像芸術コース

B2026-7-2

目次

I	教育研究上の目的	3
II	学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）	3
III	教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	3
IV	授業科目について	4
V	授業科目の単位と認定	4
VI	卒業に必要な単位について	4
VII	進級条件及び履修上限について	5
VIII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	7
	1. 全学部共通基盤科目群	7
	2. 外国語科目群	10
	3. キャリア形成科目群	11
	5. 専門科目群	14
	(1) 専門科目群 I	14
	(2) 専門科目群 II	20

I 教育研究上の目的

メディア学部は、メディア学に関連する学識を深め、クリエイティブ系実践教育とエンタテインメント・ビジネス研究により、メディア産業が必要とする創造的な人材を養成する。

II 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

メディア学部メディア情報学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（メディア情報）の学位を授与します。

1. メディアリテラシーや情報リテラシーを身に付け、主体的に理解して活用することができる。
2. メディア産業の現状と変化についての理解に基づき、適切かつ戦略的に自身のキャリアをデザインすることができる。
3. 社会人として必要な協調性を身に付け、集団で作品を生み出す作業に関する知識と経験を活かして、対話的・実践的に行動することができる。
4. 修得した技術や抽象概念を言葉やカタチに具現化する能力を身に付け、さらに文化的または経済的価値を付加することができる。
5. グローバル化と多様化が一層進展する社会を捉える視点を身に付け、国内外を問わず幅広く活動することができる。
6. 正答のない課題を解決する能力と未だ存在しないものを新たに創造する能力を身に付け、クリエイティブな活動に自発的に取り組む向上心とチャレンジ精神を持って行動することができる。

III 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

メディア学部メディア情報学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、メディアとテクノロジーが共進化し、グローバル化と多様性が急速に進展する時代において、クリエイティブティを持って活躍できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. クリエイティブティの基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 語学力と国際的教養及び実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
3. メディア産業での就職及び競争力の獲得を目指し、卒業後の社会生活の充実、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成をはかり、主体的・自律的な学修方法を修得するため、ポートフォリオ作成を含むキャリア形成科目群を設置する。
4. コースあるいは専門分野の選択にかかわらず必要な知識や技能、および専門分野の基礎知識を身に付け、より広い視野からメディアと情報について考えるため、専門基礎科目群を設置する。
5. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、専門科目群Ⅰを設置する。
6. 専門的な知識の応用と実践をはかるため、ゼミ研究・実践に関する科目で構成する専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）を設置する。
7. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせて実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」、「実技」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整やICTを活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

IV 授業科目について

メディア学部メディア情報学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、外国語科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰ・Ⅱで形成する。

V 授業科目の単位と認定

本学は単位制を採用している。単位制とは、一つひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験もしくはその他の方法により学修評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位の認定は、S・A・B・C 4段階の評価により行い、F評価は単位を認定しないものとする。なおN・Hは、単位振替により単位を認定したことを表す。

VI 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は、次の表に示すとおりである。

系列	学部・学科	メディア学部 メディア情報学科
		必要修得単位数
全学部共通基盤科目群		19
外国語科目群		4
キャリア形成科目群		9
専門基礎科目		22
専門科目群Ⅰ		22
専門科目群Ⅱ		10
各科目群に指定された最低修得単位数以外に、全ての科目群または他学部のオープン科目より選択必修。 ※ ただし、他学部のオープン科目は 20 単位までを上限として卒業要件単位数に含めることができる。		38
計		124

VII 進級条件及び履修上限について

(1) 各コースにおける学びの構成

メディア学部では、学生が自身の関心や将来像に応じて専門性を高めていけるよう、コースごとに学びの構成を定めている。

ニューメディアコース（メディアアーツ・メディアテクノロジー・メディアデザインの3分野）では、それぞれの専門領域に関連する授業科目を、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰおよび専門科目群Ⅱの中から自由に組み合わせ、4年間を通じて学修する。

映像芸術コース（メディア分野、エンタメ分野、ビジネス分野）では、各分野の専門性に応じた授業科目を、専門基礎科目群、専門科目群Ⅰおよび専門科目群Ⅱの中から選択し、体系的に4年間で学修する。

(2) 授業実施キャンパスについて

ニューメディアコースは千葉東金キャンパスを、映像芸術コースは東京紀尾井町キャンパスをそれぞれ主たる教育拠点とし、各コースの特性に応じた環境において授業を実施する。

なお、一部の授業については、教育内容や授業形態等に応じて、主たるキャンパス以外で実施される場合がある。

(3) 履修登録単位数の上限

履修登録できる単位数は、年間で原則42単位以下（2年次のみ46単位）である。

ただし、GPAが2.0以上の場合には、学業成績が良好であることを踏まえ、年間49単位までの履修を認めている。

なお、各クォーターの履修登録単位数は16単位を上限とし、SSおよびWSについては、それぞれ6単位を上限とする。

(4) 進級条件

進級条件は、各学年への進級にあたり、それぞれ定められている。進級にあたっては、以下の条件を満たす必要がある。

2年次に進級するためには、1年次の必修科目のうち4単位以上を修得し、かつ合計16単位以上を修得していなければならない。

3年次に進級するためには、1年次の全必修科目を含め、かつ合計46単位以上を修得していることが必要である。ただし、1年次の必修科目のうち未修得科目が2科目以下の場合には、46単位に満たない場合であっても、進級を認めることがある。

4年次に進級するためには、82単位以上を修得していなければならない。ただし、GPAが2.0以上の場合には、82単位に満たない場合であっても進級を認めることがある。

〈年次別で修得することが望ましい単位数の目安〉

(映像芸術コース)

学年	単位数の目安
1年次	全学部共通基盤科目群 アカデミック・スキルズ..... 1科目1単位 (必修) デジタルアプリA..... 1科目2単位 (必修) データサイエンス I 1科目2単位 (必修) 外国語科目群 Fundamentals of English I・Oral Fluency I 2科目4単位 (必修) 日本語 I・日本語 II (外国人留学生・帰国生必修) 2科目4単位 (必修) 専門基礎科目 メディア概論 1科目2単位 (必修) デジタルメディアA・デジタルメディアB..... 2科目4単位 (必修) キャリア形成科目群 基礎ゼミ IA・基礎ゼミ IB・基礎ゼミ IC..... 3科目3単位 (必修) ※指定された各科目群より修得した科目以外に 24 単位
2年次	外国語科目群 日本語科目 (外国人留学生・帰国生必修) 1科目2単位 (選択必修) キャリア形成科目群 基礎ゼミ II A・基礎ゼミ II B・基礎ゼミ II C・基礎ゼミ II D 4科目4単位 (必修) 専門科目群 I ※指定された各科目群より修得した科目以外に 40 単位
3年次	専門科目群 II プロジェクト研究A・プロジェクト研究B..... 2科目4単位 (必修) ※指定された各科目群より修得した科目以外に 22 単位
4年次	専門科目群 II プロジェクト研究C・プロジェクト研究D・プロジェクト研究E 3科目6単位 (必修) ※指定された各科目群より修得した科目以外に 8 単位
卒業に必要な修得単位数 124 単位	

※卒業に向けた履修計画については、卒業要件124単位を満たす最低限の履修にとどめるのではなく、余裕を持った履修（概ね6～10単位程度の上積み）を行うことを推奨する。

VIII 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

クリエイティビティの基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	カテゴリ	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	大学での学びの基礎を固める	アカデミック・スキルズ	①				19単位	
		現象世界をつかむ						
		自然科学概論	2					
		生命現象の理解とその応用－生命科学	2					
		生物からみた環境の仕組み－生態学	2					
		食環境論	2					
		香りと環境	2					
		身体の理解	2					
		デジタルアプリA	②					
		デジタルアプリB	2					
		情報セキュリティA	2					
		情報社会と情報倫理	2					
		人工知能論	2					
		デジタル社会を切り拓く						
		データサイエンスI	②					
		データサイエンスII	2					
		モデル化とシミュレーション	2					
		プログラミングA	2					
		アルゴリズムA	2					
		情報システム論	2					
	統計学	2						
	データ分析の基礎(解析)	2						
	データ分析の基礎(線形代数)	2						
	インターネット配信	2						

系列	カテゴリ	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	現代社会の課題に挑戦する	観光の現在と未来	2					
		ヘルスツーリズム	2					
		社会心理学	2					
		生活と文化	2					
		生涯スポーツ概論	2					
		スポーツ社会学	2					
		ボランティア論	2					
		コミュニケーションの基礎	2					
		域学共創プロジェクトA	2					
		域学共創プロジェクトB	2					
		域学共創プロジェクトC	2					
		域学共創プロジェクトD	2					
		域学共創プロジェクトE	2					
		域学共創プロジェクトF	2					
		域学共創プロジェクトG	2					
		域学共創プロジェクトH	2					
		域学共創プロジェクトI	2					
	域学共創プロジェクトJ	2						
	歴史をひもとく	史学概論	2					
		日本史を学ぶ	2					
		アジア史概論	2					
		現代史入門	2					
		房総の文化と歴史	2					
		映像メディア史	2					
		音楽史	2					
	社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2					
		経済学入門	2					
		社会と経営	2					
		社会と会計	2					
		マーケティング論	2					
		広告戦略論	2					
		社会学	2					
		社会調査	2					
法律学概論	2							

系列	カテゴリ	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
			1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群		日本国憲法	2					
		著作権	2					
		社会福祉学A	2					
		社会福祉学B	2					
		経営情報基礎論A	2					
	世界を創造する	世界遺産のいま	2					
		美学・芸術学	2					
		表象文化研究	2					
		世界の文学	2					
		演劇研究	2					
		古典芸能研究	2					
		文学を読む	2					
	知の知を追究する	教育学	2					
		心理学	2					
		基礎の数学	2					
		ジェンダー論	2					
		根拠への問いー哲学へのとびら	2					
		異文化適応論	2					
	心と身体の充実をはかる	宗教学概論	2					
		倫理学概論	2					
		スポーツ科学A	1					
		スポーツ科学B	1					
		しゃべりのスキルUp I	2					
		Drug Action Science	2					
		症状に合わせた健康セルフケア	2					
		感染症とくすり	2					
		ハーブ・サプリメント・漢方薬	2					

2. 外国語科目群

語学力と国際的教養及び実践的なコミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
外国語科目群	Fundamentals of English I	②				4 単位	<p>本科目群では、必修科目を含み、4単位以上修得のこと。</p> <p>ただし、外国人留学生・帰国生は、「Fundamentals of English I」「Oral Fluency I」の代わりに「日本語 I」「日本語 II」が必修。また「統合日本語 I」から「社会と文化の日本語 B」までの中より、1科目2単位が選択必修。</p> <p>「日本語 I」から「社会と文化の日本語 B」までの8科目は、外国人留学生・帰国生のみが履修できる科目である。</p>
	Oral Fluency I	②					
	TOEIC Preparation A	2					
	TOEIC Preparation B	2					
	TOEIC Preparation C	2					
	TOEIC Preparation D	2					
	日本語I	②					
	日本語II	②					
	統合日本語I	2					
	統合日本語II	2					
	日本語アカデミック・ライティング	2					
	日本語アカデミック・スピーキング	2					
	社会と文化の日本語A	2					
	社会と文化の日本語B	2					
	中国語I	2					
	中国語II	2					
	韓国語I	2					
韓国語II	2						
フランス語I	2						
フランス語II	2						

3. キャリア形成科目群

メディア産業での就職及び競争力の獲得を目指し、卒業後の社会生活の充実、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成をはかり、主体的・自律的な学修方法を修得するため、ポートフォリオ作成を含むキャリア形成を目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目、□印はコース必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
キャリア形成科目群	基礎ゼミ IA	①				9 単位	本科目群では、必修科目、コース必修科目を含み、9 単位以上修得のこと。
	基礎ゼミ IB	①					
	基礎ゼミ IC	①					
	基礎ゼミ IIA		□1				
	基礎ゼミ IIB		□1				
	基礎ゼミ IIC		□1				
	基礎ゼミ IID		□1				
	メディア海外研修A	2					
	メディア海外研修B	2					
	キャリアデザインA		2				
	キャリアデザインB			2			
	資格取得プロジェクトA	2					
	資格取得プロジェクトB		2				
	資格取得プロジェクトC		2				
	資格取得プロジェクトG		2				
	資格取得プロジェクトH		2				

4. 専門基礎科目群

コースあるいは専門分野の選択にかかわらず必要な知識や技能、および専門分野の基礎知識を身に付け、より広い視野からメディアと情報について考えることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群	メディア概論	②				22 単位	本科目群では、22 単位以上修得のこと。
	デジタルメディアA	2					
	デジタルメディアB	2					
	エンタテインメントビジネス論	2					
	コンテンツ戦略論		2				
	服飾文化論	2					
	企画・プロジェクトマネジメント基礎		2				
	ストーリーテリング論		2				
	メディアコンテンツマーケティング戦略		2				
	映像概論	1					
	映像美術概論	1					
	シナリオ概論	2					
	デジタルメディア技術 (IP)	1					
	映像企画・構成		2				
	メディア表現演習A	2					
	メディア表現演習B	2					
	メディア表現演習C	2					
	メディア表現演習D		2				
	総合美術論	2					
	マンガ創作研究	2					
	マンガ編集研究	2					
	アニメ・CG概論	2					
	デッサン基礎	2					
	エンタメ分野概論	2					
	エンタメ芸能基礎	1.5					
	ステージ実技基礎	2					
	ステージ空間研究	2					
	舞台美術研究		1				
エンタメサウンド基礎	2						
音楽表現基礎論	1						
音楽作品研究		2					

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群	エンタメビジネス史	2				22単位	本科目群では、 22単位以上修得 のこと。
	ビジネス経済学基礎	2					
	アントレプレナーシップ基礎	2					
	ビジネスモデルデザイン	2					
	サウンド概論	1					
	ニューメディアビジネス	2					

5. 専門科目群

(1) 専門科目群 I

実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成することを目的とする。

【映像芸術コース＜東京紀尾井町キャンパス＞】

1年次の「メディア概論」「デジタルメディアA・B」などの「専門基礎科目群」を通して多様なメディアに関する基本概念や基礎技術を学んだ後、主として2年次より「メディア分野」、「エンタメ分野」、「ビジネス分野」の各分野に必要な幅広い知識と専門技術を修得するための科目を配置している。

「メディア分野」では、「映像」「アニメーション・CG」「美術・マンガ」の各セッションに対応し、映画・ドラマ・CM・MV・番組・ドキュメンタリーといった映像表現を対象に、「映画ドラマ作品分析」「CM・MV作品分析」「番組・ドキュメンタリー作品分析」を通して作品構造や表現手法への理解を深める科目を配置している。あわせて、「映像演出」「シナリオライティング」「映像技術基礎」「映像文法技法」「撮影照明技法」「映像録音技法」「映像編集」「ポストプロダクション技法」「シネマ技法」「ドキュメンタリー映像技法」により、映像制作に必要な基礎から応用までを体系的に学ぶ科目を配置している。さらに、「番組・ライブ映像基礎」「番組・ライブ映像演習A・B・C」「広告映像制作A・B」「映画ドラマ制作A・B」「地域プロモーション映像制作」「映像マルチウィンドウ展開研究」を通して、実践的かつ社会と連動した映像制作力を養う科目を配置している。

加えて、「美術解剖学」「人体デッサン」「映像美術デザイン」「空間美術デザイン」「美術演習A・B」により造形力と美術的思考を修得する科目を配置しているとともに、「アニメーション基礎Ⅰ・Ⅱ」「アニメーションⅠ・Ⅱ」「アニメーション応用制作Ⅰ・Ⅱ」「アニメーション撮影演習Ⅰ・Ⅱ」「3DCG制作Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「モーショングラフィクス」「VFX基礎」「高度VFX演習」により、アニメーション・CG・VFX分野の高度な映像表現技術を学ぶ科目を配置している。また、「ネットコンテンツ配信基礎・制作基礎・総合基礎・配信応用・制作応用」により、映像表現をデジタルメディアへ展開する実践力を育成する科目を配置している。

「エンタメ分野」では、「芸能」「ステージ」「サウンド・音楽」の各セッションを横断し、表現の基礎から作品制作、現場運営までを段階的に学ぶ科目を配置している。「2.5次元舞台研究」「現代演芸概論」により舞台・芸能表現への理解を深め、「演技演習基礎」「演技演習応用Ⅰ・Ⅱ」「映像演技技法」「舞台演技技法」「創作戯曲技法」「演劇制作技法」により、演技および創作・制作の実践力を養う科目を配置している。あわせて、「舞台制作基礎」「舞台作品制作演習Ⅰ・Ⅱ」により舞台制作のプロセス全体を学ぶ科目を配置している。さらに、「音声表現演習Ⅰ・Ⅱ」「言語表現演習基礎」「言語表現演習応用Ⅰ・Ⅱ」「総合言語化演習」により音声・言語表現力を高める科目を配置しているとともに、「音声表現実践A・B」「音声表現作品制作」「ラジオ番組制作」により実践的な表現活動を行う科目を配置している。また、「身体表現A・B」「現代舞踊演習A・B・C」「現代舞踊Ⅰ・Ⅱ」「ファッションクリエイティブ」「ステージレビュー研究」により身体性を基盤としたパフォーマンス表現を学ぶ科目を配置している。

加えて、「ステージマネージメント・スタディ」「ステージ制作総合」「ステージ制作Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ステージ照明基礎・応用」「ステージ音響基礎・応用」「スタジオワーク演習Ⅰ・Ⅱ」を通して舞台・ライブ制作に必要な運営力と技術的知識を修得する科目を配置している。さらに、「歌唱Ⅰ・Ⅱ」「楽器Ⅰ・Ⅱ」「音楽表現演習」「音楽表現研究A・B・C」「音楽ライブ制作A・B・C」「楽曲分析」「楽曲アレンジ」「レコーディング技術Ⅰ・Ⅱ」「MA技術Ⅰ・Ⅱ」「音響効果」により、音楽表現から制作・音響技術までを学ぶ科目を配置している。

「ビジネス分野」では、「起業・プロデューサー」「エンタテインメント・ビジネス」の各セッションに対応し、経営・企画・コミュニケーションを基盤とした科目群を配置している。「マネジメントサイエンス」「ビジネスコミュニケーションデザイン」「ビジネスケーススタディ」「スタートアップ実践」「現場力養成講座」により課題発見力と実行力を養う科目を配置しているとともに、「エンタメプロデューサーシリーズA・B・C」「IPビジネス&ファンマーケティング」「芸能マネジメント基礎」によりエンタテインメント産業の実務を学ぶ科目を配置している。さらに、「オタク文化研究」「聖地巡礼研究」「芸能史」「アイドル論」「ハリウッドスターズ」「韓流エンタテインメント実践」「テーマパークビジネス」「エンタメイベント」を通して文化とビジネスの関係性を理解する科目を配置している。

加えて、「グローバルメディア研究」「English for Media Studies A・B」「シリアスゲームデザイン for SDGsⅠ・Ⅱ」により、国際的視点と社会課題に対応した実践的学修を行う科目を配置している。

「映像芸術コース」では、「メディア」「エンタメ」「ビジネス」の各分野を横断的に学ぶことで、表現と技術、企画と運営を総合的に理解する力を育成する。多様な専門性を段階的に修得しながら、社会とつながる実践力と柔軟な発想力を備えたクリエイターの形成を目指す。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I	映像技術基礎		2			22 単位	本科目群では、必修科目を含み、22単位以上修得のこと。
	映画ドラマ作品分析		2				
	番組・ドキュメンタリー作品分析		2				
	CM MV作品分析		1				
	ドキュメンタリー映像技法		2				
	シネマ技法		2				
	撮影照明技法		2				
	映像録音技法		2				
	ポストプロダクション技法		2				
	映像文法技法		2				
	映像編集		2				
	映像演出		2				
	シナリオライティング		2				
	番組・ライブ映像基礎		2				
	番組・ライブ映像演習A			2			
	番組・ライブ映像演習B			2			
	番組・ライブ映像演習C			2			
	映画ドラマ制作A		4				
	映画ドラマ制作B			4			
	広告映像制作A			4			
	広告映像制作B			2			
	地域プロモーション映像制作		2				
	ネットコンテンツ配信基礎			2			
	ネットコンテンツ制作基礎			2			
	ネットコンテンツ総合基礎				2		
	ネットコンテンツ配信応用				2		
	ネットコンテンツ制作応用				2		
	美術解剖学		2				
	人体デッサン		2				
	アニメーション基礎 I		2				
アニメーション基礎 II		2					
アニメーション I		2					
アニメーション II		2					

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I	アニメーション応用制作 I			2		22 単位	
	アニメーション応用制作 II			2			
	アニメーション撮影演習 I		1				
	アニメーション撮影演習 II			1			
	3DCG I		2				
	3DCG II		2				
	3DCG III		2				
	3DCG IV			2			
	VFX基礎			2			
	高度VFX演習			2			
	モーショングラフィクス		2				
	映像美術デザイン		2				
	空間美術デザイン		2				
	マンガ創作演習		2				
	マンガ編集演習		2				
	映像マルチウィドウ展開研究		2				
	電子制作法A		2				
	電子制作法B		2				
	美術演習A			2			
	美術演習B			2			
	演技演習基礎	1.5					
	言語表現演習基礎	1.5					
	身体表現A	1					
	身体表現B	1					
	2.5次元舞台研究	1					
	演劇制作技法		2				
	創作戯曲技法		1				
	現代演芸概論		2				
	演技演習応用 I		1.5				
	演技演習応用 II		1.5				
	言語表現演習応用 I		1.5				
	言語表現演習応用 II		1.5				
現代舞踊演習A		1.5					
現代舞踊演習B		1.5					
現代舞踊演習C		1.5					

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年		
専門科目群 I	音声表現演習 I		1.5			22 単位	
	音声表現演習 II		1.5				
	総合言語化演習		2				
	映像演技技法			2			
	舞台演技技法			2			
	音声表現実践A			2			
	音声表現実践B			2			
	音声表現作品制作			3			
	現代舞踊 I			2			
	現代舞踊 II			2			
	舞台作品制作演習 I			4			
	舞台作品制作演習 II			4			
	ラジオ番組制作			4			
	舞台制作基礎	1					
	ステージマネージメント・スタディ		1.5				
	ステージ制作総合		1.5				
	ステージ照明基礎		1				
	ステージ照明応用		1				
	ステージ音響基礎		1				
	ステージ音響応用		1				
	ファッションクリエイト		1				
	ステージレビュー研究		2				
	ステージ制作 I			2			
	ステージ制作 II			2			
	ステージ制作 III			2			
	ステージ公演			2			
	楽曲分析	1					
	楽曲アレンジ		1				
	歌唱 I	1					
	歌唱 II		1				
楽器 I	1						
楽器 II		1					
音楽表現演習		2					

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I	レコーディング技術 I		2			22 単位	
	レコーディング技術 II		4				
	MA技術 I		2				
	MA技術 II		4				
	音響効果		1				
	スタジオワーク演習 I			4			
	スタジオワーク演習 II			4			
	音楽ライブ制作A			2			
	音楽ライブ制作B			2			
	音楽ライブ制作C			2			
	音楽表現研究A			2			
	音楽表現研究B			2			
	音楽表現研究C			2			
	マネジメントサイエンス		2				
	ビジネスコミュニケーションデザイン		2				
	スタートアップ実践		2				
	現場力養成講座		2				
	ビジネスケーススタディ		2				
	エンタメプロデュースシリーズA		2				
	エンタメプロデュースシリーズB		2				
	エンタメプロデュースシリーズC		2				
	IPビジネス&ファンマーケティング		2				
	オタク文化研究		2				
	芸能史		2				
	韓流エンタテインメント実践		2				
	芸能マネジメント基礎		2				
	アイドル論		2				
	テーマパークビジネス		2				
	English for Media StudiesA		2				
	English for Media StudiesB		2				
	聖地巡礼研究		2				
	エンタメイベント		2				
ハリウッドスタディーズ		2					
グローバルメディア研究		2					

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I	シリアスゲームデザイン for SDGs I			3		22 単位	
	シリアスゲームデザイン for SDGs II			3			
	音楽理論IB	1					
	音楽理論IIB	1					
	DTM作曲I		2				
	DTM作曲II		2				
	プログラミングI		2				
	プログラミングII		2				
	データベース		2				

(2) 専門科目群Ⅱ

専門的な知識の応用と実践をすることを目的とする。

※単位数に○印を付してある科目は必修科目

系列	授業科目	年次および単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群Ⅱ	プロジェクト研究 A			②		10 単位	本科目群では、必修科目を含み、10 単位以上修得のこと。
	プロジェクト研究 B			②			
	プロジェクト研究 C				②		
	プロジェクト研究 D				②		
	プロジェクト研究 E				②		